

Fanfareの動き

Fanfareは、単発の事業ではなく、さまざまなプログラムが1年を通じて展開されています。どんな流れでFanfareが動いているのかを見てみましょう。

コラボイベント

6月ごろ

北海道での生活に関心がある方を主な対象としたオンライン・オフラインイベントの開催。

Fanfareの事業紹介やフォローアップの内容、町内でビジネスを展開している先輩起業人からのアドバイスを受けるような機会になっています。

アイデアソン合宿

7月ごろ

実際に安平町に来てもらい、町内のキャンプ場などを拠点に1泊2日しつつ、地域課題やビジネスアイデアなどを出し合うもの。すでに地域活動をしている方などもスタッフとして関わり、町の理解を深めてもらう場として位置付けています。

ビジネスブラッシュアップ合宿

11月ごろ

Fanfare参加者が、各々のビジネスプランを作成した状態で始まるビジネス合宿。

参加者のプレゼンテーションから合宿は始まりません。さまざまな事業を展開している経営者をはじめ、安平町商工会や金融機関、役場など各機関の担当者らがメンター（相談役）となり、参加者らのビジネスプランに対するアドバイスや受けることのできる創業支援などについてマンツーマンで聞くことができるもの。メンターから受けたアドバイスなどをもとに、ビジネスプランを練り直したり、改善箇所などを見つめ直すことができることから「自分1人で考えていると正しいと思い込んでいたり、気付けないことがあったりする。そんなことを修正できたり、気付いたりする場になるのでありがたい」と話してくれる参加者もいた。



最終プレゼンテーション

12月ごろ

ここでのプレゼンテーションを乗り越えた先に待っているのが「採択」！

ビジネスブラッシュアップ合宿を経て、自分自身が展開するビジネスプランの見直しや指摘された改善点への対応方法などが評価のポイントか？

参加者らの今後を左右する瞬間と言っても過言ではないこのときに、採択を決める人たちはもちろんのこと、一般町民も参加できるというのが面白い。それもただ聞くだけではなく、プレゼンテーションされた内容への質問などもでき、地域が一体となって新しいビジネスの誕生を見守るように感じる。企業や創業のスタートアップに抱く印象とは少しまた違うものがあった。

